



414
A 197



今般台湾事件ヨリ支那政府物議ヲ起シ竟ニ閣下全
 權大使ノ命ヲ被蒙御發遣相成何レ彼國應接ノ結
 末ハ和戰兩様ノ外有之間敷ト被存假若ニ戰ニ決シ
 候得ハ鄙職ニ於テ敢テ喙ヲ容ルベキ様無之乍保談
 講和ニ整候節ハ現今ノ職掌上ニ於テ少シク意見ヲ呈
 セザルヲ得ズ其故ハ和成ルノ日論償金ニ及ボスハ當然ノ
 儀ニテ其ノ之レヲ言フハ必内ニ以テ先般以來為メニ糜ス
 ル所ノ費用及其他ヲ算シテ之レヲ神フニ是リ外ハ以テ
 蕃地沿海ニ燈臺ヲ築イテ航海ノ便ヲ得セシメ又海賊ノ
 戒シテ貿易保護ノ為メニ兵備ヲ為スニ是ルノ高ヲ要シ

大正十一年四月
環侯爵郵寄贈

1746



假儀ト被存候孰レモ談如此ニ及ビ候得者夫ニ條約ヲ
嚴ニセザルベカラズ此時ニ當リテ衆議或ハ名利ニ偏シ價
ノ多キニ左袒セン鄙見ヲ以テスレバ是レ其一ヲ知リテ以テ其
ニヲ知ラザルモノ未タ萬全策ノ得タルモノナラズ其弊或ハ
名ニ馳スルモノアラニカ於是之レニ處スルノ方鄙見ノ最モ存
スルモノアリ何ントナレバ則チ價ヲ得ルモ到底我國威ヲ張
リ隨テ國ヲ利スルモノニ有之依テ熟慮スルニ當時十分ノ價
ヲ我レニ得ンヨリハ寧ロ價今ニ少ナキモ永ク我々各種貨幣
允リ彼ノ管民所在ノ地ハ某處ヲ論ゴズ官私ノ別ナク一
般流通ヲ擴ムルノ勝ルニ如カス尋常ノ見ヨリ之ヲ論シ候

得バ廣ク我貨幣ヲシテ彼レニ通用セシムルハ左ニテノ有益トモ
不相聞又タ彼レヲシテ一時許多ノ價ヲ致サシムルハ快然ノ
極聲譽焉レヨリ大ナルハナキ様相見ヘ假得共更ニ一歩ヲ
進メ前議ヲ以テスルモノハ最遠大ノ良策ニテ名譽上ニ於テ
テモ無此上實ニ永世ノ洪益ト存候此議ヲ可トシテ之ヲ行
ハントナラハ先ツ餌スルニ或ハ彼國民ノ地金銀ヲ我レニ輸
シテ之レガ鑄造ヲ望ムモノアラニハ普通制定ノ手数料
ハ節減スルモ品湏需ニ應シ其望ミヲ達セシムベシ我レ如此
クノ如クセバ則チ無厭ノ徒目下ノ利ヲ甘シ競テ以テ
鑄造ヲ乞フニ至ラン是レ其通用ヲ博ムルニ於テ莫大ノ有

益論ヲ俟タズ誠ニ以テ名利俱ニ全キモノニ可有之依テ閣
下ノ御盡力講和相整候節ハ其邊御注目ノ上鄙衷
御採用適當御談判之上條約面瞭然御掲載相成
候様致ニ度此段及陳述候也

大藏少輔吉田清成

内務卿大久保利通殿